

ときつちよう うちどく すいしん
時津町は「家読」を推進しています

たまには テレビをけして

ちゅうがくねん む 2023年 夏号
中学年向け



「日本語オノマトペのえほん」

高野 紀子/作 (あすなろ書房)

「オノマトペ」とは、音や動物のなき声、ものごとのようす、心の動きをあらわしたことです。擬音語・擬態語ともいいます。日本語にはたくさんのオノマトペがあります。

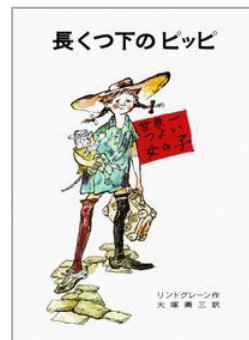
笑うにも「げらげら」「にこにこ」「にやにや」「くすくす」「ぷっ」などなど！他にも食べる、泣く、歩く時や、春夏秋冬に使われるオノマトペがたくさん紹介されています。

声に出して、家族みんなで楽しもう！

うちどく 家読とは

家族みんなで好きな本を読んで、読んだ本について話す。これが「うちどく(家読)」です。むずかしいルールはいりません。家族みんなでルールを決めてはじめてみましょう。

家族で同じ本を読みあったり、おとうさんやおかあさんに読み聞かせをしたりと楽しい時間を過ごしましょう。



「長くつ下のピッピ」

アストリッド・リンドグレン/作 大塚 勇三/訳
桜井 誠/絵 (岩波書店)

スウェーデンにある古い家に、ピッピ・ナガクツシタという女の子がたった一人で暮らしていました。ピッピは力持ちで、馬だっておまわりさんだっで軽々と持ちあげちゃう！学校やサーカスに行っても、どんな場所でもピッピのやりたい放題！

きっとあなたもビックリ&お腹をかかえて笑っちゃうはず♪

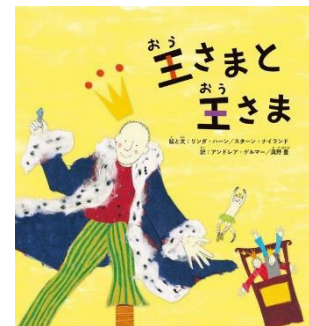


「レッツキャンプ」

いとう みく/作 酒井 以/絵 (佼成出版社)

ぼくは小学4年生の晴斗。新しいお父さん「大介くん」と二人きりでキャンプに行くことになった。ところが、テント張り、料理、釣り、何をやっても失敗つづき。ぼくと仲良くなろうとしてくれているのはわかるんだけど、不安だなあ…。

けれど、キャンプ場である親子に出会い、晴斗の気持ちにも変化がおこり…。



「王さまと王さま」

リンダ・ハーン、スターン・ナイランド/絵と文
アンドレア・ゲルマー、眞野 豊/訳
(ポット出版)

王子さまは、結婚相手をさがすため世界中のお姫さまに会いましたが、なかなか自分にぴったりのお姫さまがみつかりません。

でもある日、胸がときめく相手を見つけたのでした！その相手とは…。

人を愛することはとてもすてきな事だし、いろんな形の「愛」があつていいと思います。性の多様性について家族で話してみようよ！

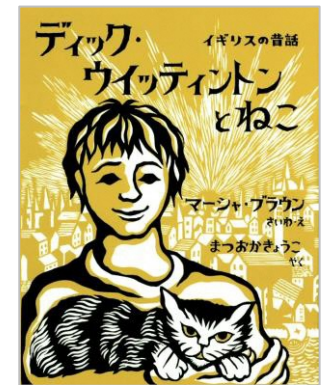


「がっこうにまにあわない」

ザ・キャビンカンパニー/作・絵 (あかね書房)

ねぼうしておおいそぎで家をとび出したぼく。それなのに、ほえる犬、ぐねぐねの歩道橋、いつまでたっても開かないふみきり。これじゃちこくしちゃうよ。今日はぜったいにちこくしちゃうだめなのに！

学校では、みんなが校庭に集まって空を見上げていた。いったい何が起きるの？



「ディック・ウィットントンとねこ」 ：イギリスの昔話

マーシャ・ブラウン/さいわ・え
まつおか きょうこ/やく (アリス館)

むかし、イギリスに、ディック・ウィットントンという男の子がすんでいました。ディックは貧乏で、お父さんもお母さんもいません。そこでディックはロンドンに行って、親切なお金持ちの商人に仕事をもらいました。

ある日、ディックは主人が出す船に、自分のかつてのねこを乗せました。すると、そのねこがとても高い値段で売れて…。イギリスの代表的な昔話。

ときつちようりつときつとしょかん
発行：時津町立時津図書館